

3(4). 拗音節(ねじれた音)の指導 (9時間)

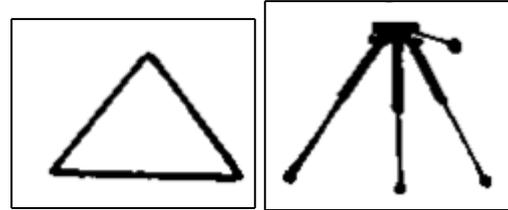
まっすぐな音とねじれた音…1時間 ま行・ら行のねじれた音…1時間
 か行のねじれた音 …2時間 かきかたのまとめ …1時間
 さ行、た行、な行、は行 …各1時間

まっすぐな音・ねじれた音 の指導 1/9

音には《まっすぐな音》と《ねじれた音》とがあり、どちらもひとつの音であること、でも、《ねじれた音》はふたつの文字で書きあらわすことを知る。

「さんかく」「さんきゃく」の絵を単語におきかえる。

- ・(三角、三脚の絵を提示)何ですか。
「さんかく」「?」
- ・(三脚について解説)



「さんきゃく」カメラなどをの

せてつかう道具です。

それぞれの単語を4つの音に分解し、【か】と【きゃ】をとりだす。

- ・発音してみよう。(手で拍をとりながら発音。)いくつの音の単語ですか。
「さんかく」 「さんきゃく」 「どちらも4つの音」
- ・本当に4つの音が、たしかめてみよう。(口に手をあて呼気(息)を数える)
「さんかく」も「さんきゃく」も4つの音でできている。手に息が4つかかる。



- ・音がよくにっています。どの音がちがいますか。



口形図をもとに、発音のしかたのちがいをしらべる。(おわりかた)

- ・【か】と【きゃ】はそれぞれ、**何段の音**かしらべよう。(ながくのばして発音)
「かー」あのお母さんの音になるから、あ段の音。
「きゃー」これも あ だから あ段の音。
- ・**おわりの口の形**をくらべよう。
「か」「きゃ」(二人一緒に短く発音して、開いたまま止める。)
どちらも「あ」の口でおわる。

【か】 【きゃ】
あ あ

おわりの口の
かたち



どちらもあ段だから「あ」の口でおわる

もっとくわしく発音のちがいを見つける。(始まりかた)

- ・おわりがおなじなのに【か】と【きゃ】は、音がちがっている。
- ・はじめの口からよく見てみよう。
「【か】【きゃ】の用意！」(発音の準備をしておいておく)
「あ・い・う・え・お」の5つの口の開きとくらべてみよう。どれとにている?
【か】は 【か】の準備 「あ」の口がまえ
【きゃ】はひらたいよ 【き】の準備 「い」の口がまえ

発音のちがいを口形図をつかって整理する。

- ・【か】はじめの口は「あ」の口の形
いったあとも「あ」の口の形
最初 「か」の準備で「あ」の音をだす。
- ・【きゃ】をいうとき はじめの口は「き」の準備 = 「い」の口の形
いったあとは「あ」の口の形
最初 い段「き」の準備だが
「い」の音は出さないで「あ」の音をだす。

「き」の準備で「い」の口構えから「あ」の音にわたるときに【きゃ】の音が響く。

- ・鏡を見ながらゆっくり発音して、はじめと後の口のかたちを確かめよう

【か】と【きゃ】の音の名づけをする。

- ・【か】は《まっすぐな音》、【きゃ】は《ねじれた音》といいます。
こんな名前になったのは、母さんのくちがまえが「い段」の準備はしただけで、「い」を言わずに「あ段」の「あ」にわたったからですね。

他の行でも《ねじれた音》があることを用例でたしかめて一般化する。

- ・次の単語をいってみましょう。ねじれた音をみつけてごらんください。
せんすー せんしゅ 【す】と【しゅ】
すの準備「う」の口 「し」の準備ー「あ」の口

ねじれた音をかくときのきまりを知る。

- ・さんか^くーさんきゃ^く
ねじれた音もひとつのおとですが、きゃは^きに、ちいさい「や」をつけてあらわします。
かしゃの「しゃ」 せんしゅの「しゅ」 ぴょんぴょんの「ぴょ」もみんなねじれた、ひとつの音です、書くときには、い段のもじにちいさい「や」をつけて書き表します。

か行の「ねじれた音」

の指導 2 / 9

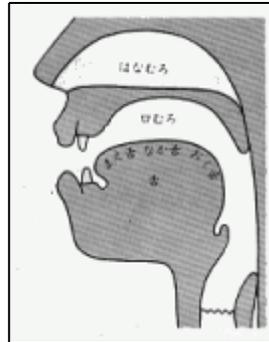
か行のねじれた音のつくり方を、実際の発音や口形図、口腔図を手がかりにして知る。

音には まっすぐな音 と ねじれた音 の対があったことを思い出す。

- ・お絵をみて単語をいう 「かく」「きゃく」
ちがうのは? 「か」と「きゃ」の音。
- ・(手を当てて発音) 「どちらもひとつの音」
- ・(ながくのばして発音)「どちらも あ段の音」
- ・「か」ははじめも おわりも 「あ」の口。
- ・「きゃ」はさいしょは「い」の口、おわりは「あ」の口。「い」から[あ]へわたる。
- ・「かく」の【か】は「まっすぐな音」
「きゃく」の【きゃ】は「ねじれた音」

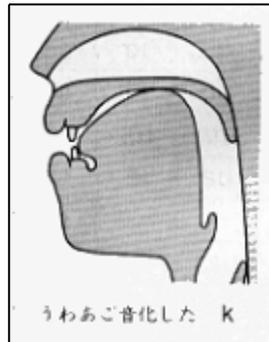
母音によって舌の位置やかたち・口のひらきが変わることをしらべておく。

- ・(口腔図をしめす)
- ・口のなかを描いた図です。音をつくる息の通り道がわかります。
くちびる・歯・舌はここです。「あ」「い」「う」「え」「お」を発音したりすると、舌の形や、口びるの形、ひらきかたもかわるのはみんな知っていますね。
- ・くちの中にひとさし指を入れて、舌の上のにせ、「あいうえお」と発音しよう。
- ・「あ」は舌がひくくなる。
- ・「い」はきゅうに高くなって奥にいけない。
- ・「う」は舌がおくににげるみたい。ぱっとはなれる。



【K】の口腔図で「き」のを発音を準備するときの舌の位置を知る。

- ・(きの口腔図提示) 「き」と発音するときの 口のようすです。
- ・「舌が」高くもちあがって、うえに(うわあごに)くっついてますね。
- ・では、みんなも「き」と発音します。
舌にゆびをのせて準備。 「き」
- ・指がはさまれちゃった。前の舌がうえについたよ。



【きゃ】の発音 の仕組みを知り、発音する。

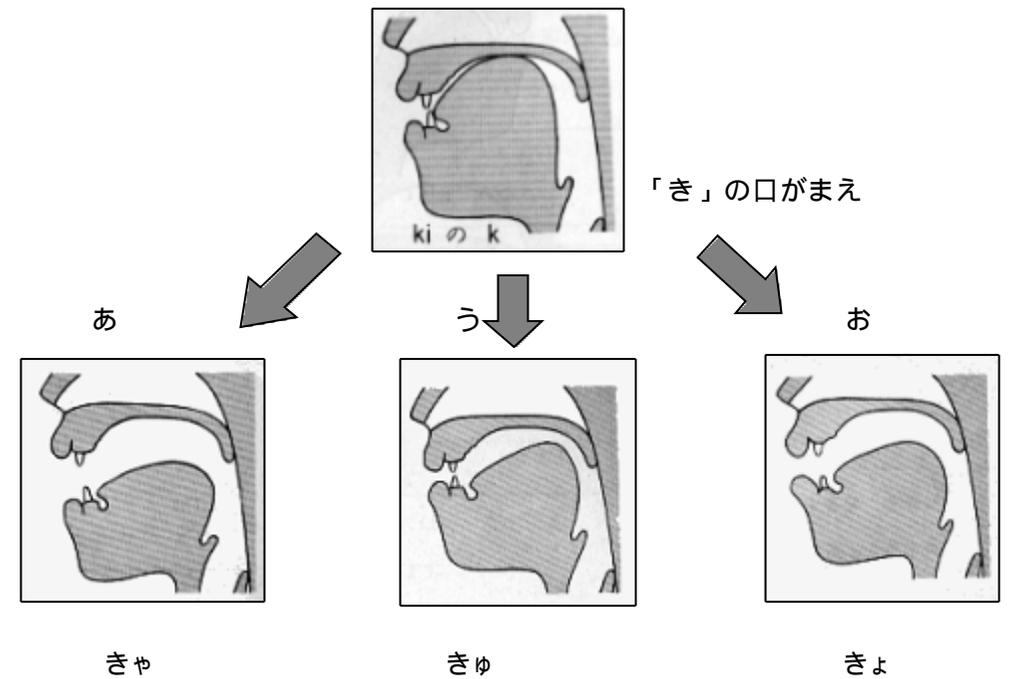
「きゃ」の発音はまず「き」の口がまえをします。口がまえとは声をだすため のくちびるの形や口のなかの形のことです。

「き」の口がまえをしても「い」をださないで何の音をだすの? 「あ」

- ・発音してみましょう。
- 「き」のかまえをして、声をとめてがまんして、いきおいよく「あ」と言おう。
「kiの口腔図」 「aの口腔図」 「きゃ」

【きゅ】【きょ】の音も同様にして 発音してみる。

- ・【きゅ】 「き」の口がまえ をして、声をとめ、いきおいよく「う」という。
ねじれた音【きゅ】は う段の音
かぎょう う段の まっすぐな音 は【く】
- ・【きょ】 「き」の口がまえ をして、声をとめ、いきおいよく「お」という。
ねじれた音【きょ】と対になる か行お段の まっすぐな音 は【こ】



か行のまっすぐな音と ねじれた音を整理する。

	あ段	い段	う段	え段	お段
か行の まっすぐな音	か	き	く	け	こ
か行の ねじれた音	きゃ		きゅ		きょ

*時間があれば、か行は「き」の口がまえのときでしか、ねじれた音につくれないことをはつおんしながらたしかめてもよい。

上顎音化した【K】(kj)のときだけ、はっきりとしたひとつの音としての音節が つくれることに気づかせる。